

令和7年度 宮崎県立高城高等学校 自己評価書(評価は1～4の4段階)

評価指数 4(期待以上) 3(ほぼ期待通り) 2(やや期待を下回る) 1(改善を要する)

学校教育目標	本校教育は、宮崎県教育基本方針並びに宮崎県人権教育基本方針に基づき、確かな学力を身に付け、心豊かな人間的魅力にあふれた、社会に貢献できる「有為な人材」を育成することを目標とする。				【重点目標】～可能性を伸ばし 生徒に自信と誇りを一人一人を大切にしている指導を通して～ ○カリキュラム・マネジメントの推進 →社会に開かれた教育課程の実現、学力の向上を図るための授業の工夫・改善、ICT教育の推進(教材の共有化) ○魅力ある学校づくりの推進 →探究活動の推進、普通科の特色創出、地域との連携、入学したい・卒業して良かったと思える学校 ○当たり前のことを当たり前でできる生徒の育成 →挨拶・身だしなみ・清掃等の指導の徹底、自ら考えて行動する力の育成、規範意識の醸成 ○生徒一人一人を輝かせるための工夫 →学校行事や生徒会活動、部活動の充実・活性化を通じた生徒の自主性の育成や自己肯定感の醸成 ボランティア活動の推進、人間関係づくりの取組の推進、通級による指導の充実 ○生徒の多様な進路目標の実現 →授業の充実・改善、多様な進路に対応する指導体制の充実、資格取得の指導の充実 ○風通しのよい、働きやすい職場環境づくり →職員間のコミュニケーションの促進、相談しやすい環境づくり、組織的対応 働き方改革の取組の推進、協力し合う環境			
学校の使命	校是「自立」「友情」「前進」に基づき、確かな学力及び規範意識を身に付けさせるとともに、生徒の適性を生かした進路実現により、地域から信頼される学校づくりに取り組む。							
基本方針	【めざす学校像】：生徒一人一人を大切に、互いが尊敬し合い、支え合い、高め合う中で、確かな学力と豊かな人間性、規範意識を着実に身につけさせ、生徒の能力・適性を生かした進路を実現することにより、生徒・保護者・地域の願いに応え、信頼される魅力ある学校。 【めざす生徒像】：校是「自立」「友情」「前進」の具現化を図り、心身ともに健康で、自己の成長・社会への貢献を目指して学び続ける、心豊かでたくましい生徒。 【めざす職員像】：教育の専門家として、授業力や生徒指導力等の向上において学び続け、生徒・保護者・地域の願いに応えるために「あつい」(熱・厚・篤)指導を行う職員							
具体的実践	達成手段	1学期	2学期	総括	成果(□)と課題(■)	学校評議員及び学校関係者評価	コメント	
1	学力の向上	2.3	2.5	3.2	【教務部】 □基礎学力の定着については、教師全員で全力で取り組んでいる。ある程度学力のある生徒に対しては、学力の伸長を図り、大学合格など生徒の目標達成の援助をすることができた。一方、基礎学力の低い生徒に対しても、日々の学習活動の援助を最大限実施し、少しずつではあるが、伸長が見られるようになってきている。 □ICT教育については、タブレット端末の使用やプレゼンテーションソフトの活用など、日々の学習活動において活用を促し、スキルの上昇を確認できている。 ■学ぶことに対する意義をまだ見いだせていない生徒が、少数ではあるが存在している。理解を求め続けていきたい。 【進路指導部】 □基礎力診断テストの結果をもとに、学習の到達度について把握し、さらに学力向上の前段階にある生徒のモチベーション、心の状態を把握し、今後の支援について検討をした。これをもとに、単に学力の定着だけでなく、それ以外の要素を含めた指導へとつなげることができた。 【生活文化科】 □家庭科技術検定試験を通じた基礎力定着に取り組んだ。専門職に求められる基礎的な知識・技術の定着に向け、1年生の基礎から3年生の上級検定取得まで、多くの生徒が挑戦した。 ■2級の合格率が伸び悩んでいる。生徒の技術力及び基礎学力の底上げが課題である。指導方法の見直しを行い、分かりやすい教材開発や指導方法を模索したい。	3.1	□今年度の四大合格等、2年生・1年生の励みとなり、下級生の学力の底上げになることを期待しています。 □生活文化科の1年生からの家庭科技術検定への挑戦は大変素晴らしいことと思います。 □3年生は落ち着きのある学年で、国公立大の推薦合格者も輩出するなど成果に結びついている。長く連携授業で関わらせていただいておりますが、今年度はとりわけ意欲的で取り組む姿勢が大変優秀だと思いました。何より高度な学習に対して活々取り組むような様子は全くなく、チャレンジすること、自分を高めていくことに多忙ながらも楽しんでいる姿勢に感心しております。一方で、説明にあったように普通科で商業の学びができることなどの良さについても上手くアピールされ、貴校の良さが伝わっていくことを期待しております。	
2	自尊感情の醸成 規範意識の確立	2.3	2.8	3.0	【教務部】 □体育大会を晩秋に時期をずらして実施したところである。生徒・職員ともに充実感が得られたと好評であった。文化祭は例年通り12月に実施したが、3年生が最高学年として自覚を持ち、はつらつと活動している姿が見られた。 【生徒指導部】 □ドレスコードを作成・掲示することで着こなしの基準を示すことができた。マナー指導などにおいても概ね良好であった。 □银杏祭(文化祭)の取り組みが積極的であった。生徒会の発案で新たにキッチンカーを導入し、多くの生徒に好評であった。鑑賞態度も良かった。 □多くの生徒がボランティアに参加した、新たに軽音楽同好会を生徒が企画し立ち上げた。 ■1年生のボランティア活動者が少なかった、部活動加入者の減少、授業態度や制服の着こなしがよくない生徒が一部見られた。 【進路指導部】 □校内ガイダンスの実施、校外ガイダンスへの積極的参加を呼びかけることで、企業や上級学校に対する意識を高めた。また、生徒のみならず職員の研修も取り入れたことで、地元企業の協力体制の強さも感じる事ができた。3年間の進路指導を今後さらに見直ししながら、時期に応じた指導や助言ができるように改善をはかりたい。 【生活文化科】 □学校外との連携活動の成果もあり、文化祭などの学校行事の他、オープンスクールやちびっこ運動会などで、堂々と活動したり、表現したりできる生徒が増えた。地域で行われるボランティアや行事に自発的に参加する生徒が増加した。自己有用感の育成につなげることができた。 ■カリキュラムに落とし込み、外部団体、地域との連携を勤務時間の中で無理なく行えるような取り組み方を研究したい。	3.4	□ボランティア活動参加者が多いことは嬉しく思います。その活動の中でコミュニケーション力が身についていくと思います。 □地域活動への積極的なボランティア参加が、地域との信頼関係を築いていくと思います。地元の幼・小・中・大との地理的な近さを生かした地域教育も展開され、多様な年齢層の人々との関わりも大切にしていることが、貴校生徒の人間力の高さにつながっているのではないかと感じています。その地域的特性を生かした貴校にしかできない教育をこれからも期待しています。 □体育大会を拝見しましたが、生徒一人ひとりが役割を全うし、生き生きと活動する姿が大変印象的でした。ルールを遵守しつつ全力で楽しむ姿勢からは、日頃のご指導による規範意識の定着と自己肯定感の高さが伺えます。教職員の皆様の情熱的なご指導が生徒たちの豊かな表情に反映されていると実感いたしました。 □地域内外でのボランティア活動を積極的に行っているため、続けてほしい。	

3	キャリア教育の推進	1 3か年間の系統的な指導の構築 2 企業や上級学校との連携による意識啓発 3 多様な進路希望への早期対応と目標達成 4 インターンシップの改善充実 5 コミュニケーション能力の育成	2.7	2.8	3.3 【教務部】 □本校のカリキュラムにおいては、1年次に基礎科目や必修科目を履修し、2年以降に進学及び就職に向けての科目履修をすることになっており、コース選択や履修についてはスムーズに行われているため、系統的な指導はできていると思われる。 【生徒指導部】 □様々な行事活動、ボランティア活動においてコミュニケーション能力の向上が見られた。 □都城市選挙管理委員会主催わけもんの主張に出場、優秀賞をいただいた。 【進路指導部】 □校内ガイダンスの実施、校外ガイダンスへの積極的参加を呼びかけることで、企業や上級学校に対する意識を高めた。また、生徒のみならず職員の研修も取り入れたことで、地元企業の協力体制の強さも感じる事ができた。3年間の進路指導を今後さらに見直ししながら、時期に応じた指導や助言ができるように改善をはかりたい。 【生活文化科】 □南九州大学や幼稚園との連携により、進学して保育を学ぶことや保育士の仕事について、生徒が具体的にイメージしやすくなった。専門の学びをいかした進路も昨年度より10%程増えた。 ■学科の特性を活かした進路実現に向け、生徒募集の段階からのPRと入学後の進路指導体制を構築したい。上級学校に進学し、専門職として活躍できる人材を増やしたい。	3.4	□インターンシップの取組は大変貴重な学習だと思えます。 □先生方の温かな雰囲気と懇切丁寧な指導により、進路を柔軟に考え、のびのびと学修に取り組んでいる様子が伺えます。生徒の個性を尊重した指導を今後も続けていきたいと思えます。 □多くの生徒が地元企業への就職を果たしている点は、貴校のキャリア教育の大きな成果です。今後も地域産業との連携を深め、より質の高いキャリア形成支援を期待しています。 □わけもんの主張の優秀賞は、素晴らしい事です。 ■生徒募集へ向けたPRと地域企業への協力、各団体との意見交換や議論を深め、更に貴校のイメージアップに向けた取組を開始してほしい。
4	信頼される学校づくり	1 家庭(PTA)・学校・同窓会との連携強化 2 地域との交流促進 3 広報活動の充実 4 本校志願者の確保 5 普通科・生活文化科の特色・魅力づくり 6 学校関係者評価の適切なフィードバック 7 教職員の矜持によるコンプライアンス意識の保持 8 風通しの良い、働きやすい職場環境づくり	2.4	2.7	3.3 【教務部】 □商業的な学習ができるこのエリア唯一の普通科高校という点をアピールできているのではないかと考える。魅力的な普通科を目指して、今後もアピールできる要素を模索していきたい。生活文化科は地域からの信頼を得られているので今後も継続してアピールを続けていきたい。 ■志願者の確保については、私立高校の授業料無償化ということで、正直、苦戦を強いられている。 【生徒指導部】 □警察と連携し、交通安全教室や情報モラル教室を実施した。 □観音池祭りや、都城ボランティアフェスティバルに生徒実行委員として参加し、地域の方々と運営に携わることができた。 □地域の方とのスポーツデイを生徒会が発案、企画した。 【進路指導部】 □地域で行われるさまざまなイベントに本校生徒も積極的に参加したと思う。そこでの活躍が地元の方々に認められるなど、交流、貢献に大きく関わったと思う。これが継続されることが今後の目標である。 【生活文化科】 □大学、幼稚園連携、地域連携を推進し、学科の魅力づくりにつとめた。多くの外部の方に授業に入ってもらい、地域とともに生徒を育てるという環境が整ってきた。 ■中学生とその保護者にとって、さらに魅力ある学科にアップデートしていきたい。	3.1	□今年度末の地域の方とのスポーツデイは、素晴らしい企画だと思えます。そのうちに中学校との連携が実現することでしょう。 □生活文化科のような実学は、生涯に渡って自立した生活を可能にし、日々の生活力を高めるための得難い力になると思えます。学力偏重が見直され、今後注目されていく分野になっていくかもしれません。引き続き、温かみのある質の高い教育を期待しております。 □登下校時や地域での振る舞いが非常に爽やかで、地域住民からも厚い信頼を寄せられています。特に中学校との交流において、高校生が優しく丁寧に教える姿は、義務教育期の児童生徒にとって素晴らしいロールモデルとなっています。 □防災士資格の取得や地域の防災訓練への積極的な参加は、貴校が「地域の防災拠点」として機能している証であり、非常に心強く感じます。